

2024年10月11日

各位

会社名 プリントネット株式会社  
代表者名 代表取締役会長兼社長 小田原 洋一  
(コード番号: 7805 東証スタンダード市場)  
問合せ先 執行役員管理本部長 小田原 一誠  
(TEL. 050-3734-6495)

## 減損損失の計上および 2024年8月期 通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2024年8月期（2023年9月1日～2024年8月31日）において、減損損失を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。また、2024年4月12日に公表しました2024年8月期通期業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

### 1. 減損損失の計上

当社の各事業につきまして、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき回収可能性を検討した結果、その他事業に関して減損の兆候が見られたため、収益予測の見直しを行い、第4四半期会計期間において回収可能価額との差額52百万円、累計で136百万円を減損損失として計上することとなりました。

### 2. 2024年8月期通期業績予想数値と実績値との差異（2023年9月1日～2024年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 9,162	百万円 280	百万円 285	百万円 115	円 銭 23.96
実績 (B)	9,306	448	456	210	43.58
増減額 (B-A)	143	168	170	94	—
増減率 (%)	1.6	60.0	59.7	82.0	—
(参考) 前期実績 (2023年8月期)	9,629	691	689	419	86.25

### 3. 差異の理由

当社が提供する商品ラインナップの中で、特に利益率の高いカテゴリーの販売が著しい成長を遂げました。これらの商品は顧客から高い評価を受けており、需要の増加が全体の売上高に大きく貢献しました。結果として、当初の予想を上回る売上高を達成し、全体の利益率も改善いたしました。

さらに、高利益率の商品に対しては、効率的なマーケティングとコスト管理を行ったことが、収益性の向上に大きく寄与しました。製造部門においても、従業員の多能工化が進み、人員の適正化および効率化が図られた結果、内製化が促進されました。

これらの要因により、営業利益、経常利益、当期純利益のすべてにおいて、前回公表の予想を大幅に上回る結果となりました。

以上